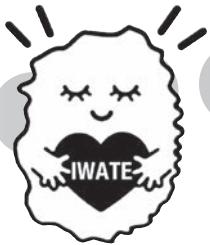


岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会員数／305名（2018.4.19現在）

編集発行／「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 川守田方

TEL: 090-2604-7918 FAX: 019-653-6447

郵便振替口座／02250-1-60580 E-mail／hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage（岩手ホスピスの会通信）／<http://hospice.sakura.ne.jp/>

No.60
2018年5月

岩手ホスピスの会 2017年度総会開催

岩手ホスピスの会 2017年度総会は2月10日開催され、新年度の事業計画として

1. がん患者とその家族を様々な角度からサポートする
 - ①脱毛に悩む患者さんのためにタオル帽子活動
 - ②患者さんを支援するイベント開催（がん患者さんのための栄養講座、緩和ケアセミナー開催等）
 - ③がん何でも電話相談「がん相談ホットライン」活動
 2. 全国関連団体へ積極的に活動協力をを行い相互の情報交換を深め、岩手と日本のがん医療・緩和ケアの推進をはかる。
 3. 設置された各ホスピスへの見守りとボランティア協力
 - ①一般の方への岩手県内ホスピスの啓蒙のため、県内ホスピス支援イベント開催
 - ②岩手県内各ホスピスの定期的な現状調査
- 一等が提案・承認され、新年度役員が選出されました。



2017年度 総会（2月10日、盛岡市総合福祉センターにて）

《新年度役員》

代表：川守田裕司 副代表：伊藤ヨシ子 事務局長：吉島美樹子

幹事：佐々木順子、浅田京子、佐々木弥生、蛇口真理子

会計：池乗育代、細川恵美子 監査：菊地克昌、佐々木美穂子

岩手県内では現在ホスピスが、盛岡市3ヶ所、県中央部（北上市）1ヶ所、県南部（一関市、奥州市）2ヶ所の計6ヶ所に設置されました。岩手医科大学附属病院にも2019年の設置が予定されています。更に沿岸部や県北部にもホスピスが開設され一人でも多くの方々が充実した緩和ケアを受けられることが私たちの願いです。

新たにがんという病を得た患者さんは全国に多数おられます。そのような患者さんにいかにしてタオル帽子の情報を届け、それによりがんの悩みが少しでも軽減され、また十分な緩和医療（ケア）を受けられるようにサポートしていくことが、昨年に続いて今年も大きな課題となります。

超高齢社会を迎え、医療・介護の連携で今後在家や施設での看取りが増えてくると思われます。患者さんとご家族の立場でこれらの問題に取り組み、皆様の願いが少しでも社会に届くことを目指し活動して参りたいと思います。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

がん対策推進協議会に患者の声を届けよう

第23回岩手県がん対策推進協議会は1月31日盛岡市内で開催され、県により作成された次期第3次岩手県がん対策推進計画最終案について委員間で検討が行われました。

会議を傍聴した一般の方は1名、報道関係者は4名でした。

次期第3次岩手県がん対策推進計画について当会は、役員全員で話し合ったことを集約して、①県主催で年1回開催している「医療者と患者会による緩和ケアに関する検討会議」では県内各地から緩和ケアに携わる医療者の方々が20名以上参加しておりますが、時間が足りず患者会と医療者の自己紹介にとどまっております。次回からは互いに全体と地域ごとに分けるなどして意見交換ができるような場や時間を設けていただければ話し合いが深まると思います。

②県主催で年1回開催している県内患者会の学習会において、遠方から足を運んでいる患者会の方々が講師のお話を聞いてどなたも何も発言せず、黙々とお帰りになるお姿を見て、盛岡の患者会として大変心苦しく思います。次回からは遠方から来られた方々にはその地域の現状や皆に伝えたいことなどを優先的に発言する場を設けていただき、交流を深める機会にしたいと思います。

③厚労省の推計でも明らかなように、在宅医療のニーズが今後急激に増大することから、在宅緩和ケアのニーズも必然的に高まることが予想されます。

岩手県においても、在宅療養支援診療所・病院、薬局、訪問看護ステーション等の医療従事者への緩和ケア研修の実施を施策に盛り込んでいただけないでしょうか。併せて、在宅医療ニーズの増大に伴い、現場で患者のケアにあたる介護福祉士、ヘルパー、ケアマネジャー等への緩和ケア研修のためのニーズ調査も盛り込んでいただきたいと思います。」一と意見を述べました。(下部新聞記事参照)



第23回 岩手県がん対策推進協議会

1月31日はあしたかん对策推進協議会で県が2011年度から6カ年の次期がん対策推進計画の最終案を示した。県によると、がんによる死亡者数（16年）は4521人で、総死亡者数の約3割を占める。75歳未満の人口10万人あたりの年齢調整死亡率は81・3で、全国平均76・1を上回っている。死亡率は全国的に低下傾向にあり、00年と比べて全国平均は27歳下がっているが、岩手県は13歳の低下にとどまっている。

次期計画案では、がんの発症リスクとなつている喫煙の対策として、喫煙率低下の数値目標が盛り込まれている。岩手県は22・6%で、全国平均19・8%を上回っている（16年）。非喫煙者のがんリスクを高める受動喫煙を防ぐため、事業所での全面禁煙や分煙化を促す。対策を施してい る事業所は約6割で、20年には100%導入をめざす。

県はこのほど、来年度以降に取り組むがん対策の重要な目標を公表した。予防策として成人の喫煙率を22%から12%に下げるほか、がん検診の受診率を50%以上に引き上げ早期発見をめざす。患者の生活の質の向上や維持を図る緩和ケアの充実や、若年患者の学習や就労支援にも取り組む方針。

がん検診受診率（40歳以上70歳未満、子宮頸がんは20歳以上）の引き上げ目標について、胃がん、大腸がん、子宮頸がんを50%、乳がんを55%、肺がんを60%にそれぞれ設定した。県は協議会での議論を踏まえ、3月中に次期計画をまとめる。

在宅ケア・若年支援 6カ年計画に望む声

今年度4回開かれた協議会では、緩和ケアの従事者への研修強化や若年患者の支援について意見が出た。がん患者らでつくる「岩手ホスピスの会」の川守田裕司代表は今後、在宅医療を受ける患者が100万人を超えるとする国の推計結果を紹介。これを踏まえ、「在宅での緩和ケアの二つも今後高まるので、在宅医療や介護ケアに携わる人の研修も計画に盛り込む必要がある」と要望した。

がん治療に携わる岩手医科大学緩和医療学科の木村祐輔主任教授は、若年患者への支援を求めた。「高校生の患者に対し、講師を派遣して教育の機会が得られる仕組みを導入してほしい」と指摘した。

文部科学省は16年度から、長期入院する児童生徒の学習機会を保障するため、人材を配置するなどのモデル事業を始めおり、16年度は福島県が高校生を対象に実施した。

(角津栄一)

がん治療に携わる岩手医
大緩和医療学科の木村祐輔
特任教授は、若年患者への

支援を求めた。一高校生の患者に対し、講師を派遣して教育の機会が得られる仕組みを導入してほしい」と指摘した。

文部科学省は16年度から、長期入院する児童生徒の学習機会を保障するため、人材を配置するなどのモデル事業を始めており、16年度は福島県が高校生を対象に実施した。

煙率22→12%目標 県、がん緩和ケア充実へ

もりおか往診ホームケアクリニック見学レポート

昨年11月に新設された「もりおか往診ホームケアクリニック」を見学しました。

同クリニックは平成14年10月盛岡市東見前に「もりおか往診クリニック」として開院し、これまで在宅医療を中心に診療を行ってきましたが、新クリニックでは在宅診療とともに、外来診療、通所リハビリ・訪問リハビリの事業も行っています。



院長 木村幸博先生

外来診療は地域のかかりつけ医として何でも相談できるクリニックを目指し、内科、外科、消化器内科、循環器内科、神経内科、内視鏡内科を専従医師1名で対応し、2Fには入院病棟（一般病床19床）も確保されています。

訪問診療は専従医師4名、非常勤医師1名で担当して、診療所から半径14km以内の往診を行っています。

通所リハビリテーションではマシントレーニング他多様な機器を導入し、ニーズに対応しています。訪問リハビリテーションでは通院や外出が困難な方に対応しています。



もりおか往診ホームケアクリニックスタッフ

もりおか往診ホームケアクリニックの訪問診療について：

訪問診療は4人の医師+非常勤医師1名で対応しています。紹介患者さんは年間平均200人で、うちがんの方が100人、非がんの方が約120人となっています。

年間約160人在宅（自宅と施設）で見送り、年間60人在施設（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホームなど）で見送っています。がんでも病院と同じように薬を細やかに調整して痛みを取り除いており、飲み薬、座薬、貼り薬を基本に、状況により注射も使うことができ、医師も看護師もスキルアップしているとのことです。

医療法人葵会もりおか往診ホームケアクリニック：〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡三丁目20番3
電話：019-614-0133 FAX：019-614-0134

書籍紹介

「さいごまで自宅で診てくれるいいお医者さん」 ～家族と平穏死をかなえる完全ガイド～

※編集部が独自入手した厚生局データから、看取り実績が十分な
全国2,104診療所を掲載。「平穏死10の条件」の解説も

ムック：116ページ

出版社：朝日新聞出版

発行日：2017年11月30日

定価：907円+税

掲載されている岩手県の診療所は以下の通り（全て在宅療養支援診療所）

- ①もりおか往診ホームケアクリニック（盛岡市）019-614-0133 ②真山池田医院（盛岡市）019-623-7151 ③恵ライフクリニック（花巻市）0198-39-1133 ④ゆかわ脳外科（花巻市）0198-24-2960 ⑤ホームケアクリニックえん（北上市）0197-61-5160 ⑥日高見中央クリニック（北上市）0197-61-0888 ⑦松原クリニック（陸前高田市）0192-53-1877 ⑧釜石ファミリークリニック（釜石市）0193-31-1616 ⑨あすみのクリニック（滝沢市）019-688-6566 ⑩なおしま医院（紫波町）019-673-6967



岩手ホスピスの会 ホスピスセミナー

①訪問診療の現状について、在宅や施設での痛みケアや看取りについて
②大切な人と自分の最期について話し合っておく（人生の最終段階には7割の方が意思決定できない状態）
③延命治療について（胃ろうを望みますか？）
④一人暮らしの方の最期は？一等超高齢社会に生きる私たちの疑問と不安にこたえるセミナーです。

日 時：7月21日（土）講 演：13:30～14:30

質疑応答：14:30～15:00 参加費：無料

場 所：盛岡市総合福祉センター
(若園町2-2 TEL: 019-651-1000)
講 師：もりおか往診ホームケアクリニック

医師 岩井正勝先生

住み慣れた場所で、安心して過ごすために
—自分の思いを大切な人に伝えよう—



岩井 正勝 先生



問い合わせ：岩手ホスピスの会

Tel: 090-2604-7918 Fax: 019-653-6447 E-mail: hospice@eins.rnac.ne.jp

困ったときは病院内に患者家族の相談窓口があります。

①痛みが取れない ②治療について分からぬことがある ③病院のことで誰にも聞けず悩んでいる—このような時は遠慮なく以下の窓口にご相談下さい！



○医療福祉相談室：多くの病院に設置されており、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士等）が、患者家族が安心して療養できるよう様々な相談に対応する。

○がん相談支援センター：全国全てのがん診療連携拠点病院などにあり、がんのこと、治療のこと、今後の療養生活のことなど、がんにかかる質問や相談に対応する。

○がん患者家族サロン：がん患者家族同士の情報交換や親睦を図る。がんに関する様々な情報収集ができる。がんに関する疑問に医療者が対応する。

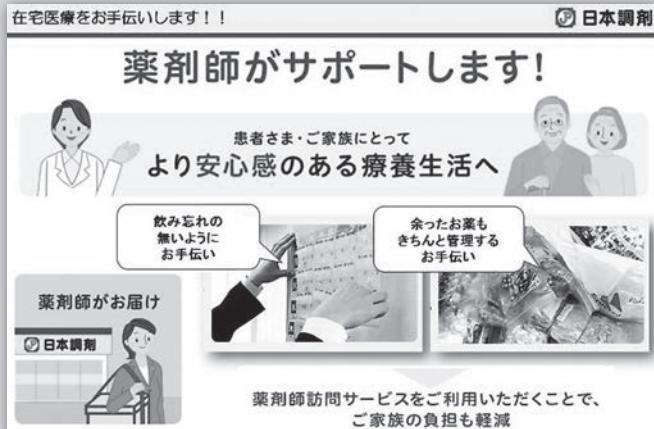
窓口が分からぬときは受付や看護師に聞くか、病院の代表電話に問い合わせて下さい。

シリード

岩手の在宅医療を支える人々②

調剤薬局の在宅医療への関わり

日本調剤盛岡南薬局 在宅医療部主任薬剤師 小笠原 拓也



「薬剤師って何してくれるの？」と思われる方も沢山いらっしゃると思いますが、薬局の薬剤師がお薬をご自宅へお届けし、在宅療養のお手伝いをしていることをご存じでしょうか？

日本調剤は岩手県内に12店舗あり（全国に店舗があります！）、私の拠点である盛岡南薬局は現在薬剤師13名（常勤8・非常勤5）・事務員5名です。主治医からの指示に基づき薬剤師が在宅訪問を行い、現在100名位の在宅療養の必要な方々を他職種の方々のお力も借りてサポートしています。

お薬が飲みにくくないか？きちんと効いているか？副作用で辛い思いをしていないか？飲み忘れなく管理できているか？等を現場で確認し、その方に合わせたお手伝いをしています。

もちろん終末期の緩和ケアが重要な方のお手伝いもさせて頂いていますし、注射剤での痛みのコントロールや、点滴が必要になる方のお手伝いも可能です。

緩和ケアには医療用麻薬を使用するケースも多々ありますが、副作用の一つに「吐気」があります。↗

入院中に医療用麻薬を開始し疼痛が和らいだことで状態が改善し在宅療養開始となつた方がいました。当初は食べられないのを補うための点滴や吐気止めの点滴が必要でしたが徐々に改善し、その都度使う坐薬の吐気止めで治まる様になってきました。

ゆっくりお話しして確認すると「食事の前に吐気止めを使えると食欲も出るし良いと思うが、坐薬は手間がかかる」とのことでしたので、同じ成分で飲み薬があることをお知らせし、手軽に内服出来る錠剤と直ぐに効果の期待できる坐薬とを使い分けられるよう一緒に処方してもらい、食前定期内服で食欲が戻り体調も改善しました。

現在も医療用麻薬を調節しながらご自宅で療養を続けていらっしゃいます。

更に、現在通院しながら治療中の緩和ケアが必要な方に対しても薬局窓口で同様のお手伝いができると思います。

在宅療養はとても大変で様々な職種の色々な助けが必要ですが、是非薬局も活用してお話し（相談）を聞かせてもらえればと思います。

薬剤師の訪問を希望される場合は、主治医・薬局・ケアマネジャー・その他関連職の方にご相談下さい。在宅訪問可能な薬局は、「各地域薬剤師会」や「いわて医療ネット」からも検索可能です（直接店頭や電話でも相談に乗ってくれると思います）。



小笠原拓也さん（左から4人目）

連絡先：日本調剤 盛岡南薬局 〒020-0834 岩手県盛岡市永井12地割128番2号

電話：019-632-6002

FAX：019-632-6004

日本調剤 HP：<https://www.nicho.co.jp/>

高田に輝(ひかり)の花を咲かせよう

東日本大震災発生から7年。私たちホスピスの会が震災後何度も支援物資を持ってお伺いした陸前高田の新市街地で今年も3月10日、東日本大震災復興祈願イベント「高田に輝(ひかり)の花を咲かせよう」が開催され、参加しました。

会場にはボランティアの人たちが作った約600個のLEDライトや光のオブジェが輝き、震災で亡くなった尊い沢山の命を追悼していました。

イベント名の「輝(HIKARI)」は、大震災で命を落とした一人、陸前高田の消防団員だった当時25歳の菊池勇輝さんの「輝(HIKARI)」です。

菊池勇輝さんの母、裕子さんとそのお友達に、震災から7年経った今の思いをお聞きしました。



光のオブジェが亡くなった
沢山の命を追悼しました



菊池裕子さん(中央)、菅原さん(左)

陸前高田市竹駒町・菊池裕子さん(50代女性)

あの甚大な被害をもたらした大震災から7年…早いのか遅いのかその感覚さえ掴むことができないまま月日が流れていきました。津波さえなければと、恨み、悔しさ、虚しさ、心の奥底に潜んでいる哀しみは決して癒えることはありませんが、そんな絶望の中でタオル帽子の会との出会いが私の心の支えになりました。会員の皆さんのが物心両面を支えてくれたことは一生忘れる事ができません。7年たってもいまだに高田に心を寄せてもらえることに心から感謝申し上げます。私は何もお返しできませんが、とにかく元気に津波の事を風化させず、二度と多数の犠牲者が出ないよう次の世代に語り継ぐことが、生かされた私たちの使命だと思っています。

陸前高田市横田町・菅原さん(50代女性)

何年経ってもあの日のことを思い出すと胸が締め付けられます。あと何年経とうが多分生きているうちにはこのことは変わらないと思います。仮設住宅で一緒だった人たちとは今でも仲良くしています。ずっと前からの長い付き合いのような気がします。震災を経験してから、人と人の繋がりの大切さを本当に実感しました。これからも人の絆を大切にして行きたいです。

被災地を訪ねる度に、人の命は有限であること、大切なものを失った悲しみを癒すには多くの時間を必要とすることを改めて思い知らされます。

亡くなった方たちのご冥福を祈り、被災地で出会った全ての人たちの幸せを願いました。

被災地支援草刈ボランティア募集

6月23日(土) 東日本大震災被災地支援活動として、陸前高田市仮設住宅周辺において生い茂った雑草の草刈りボランティアを行います。昨年も開催し、仮設住宅の方から大変助かったとお礼の言葉を頂きました。今年も皆で取り組みたいと思います。参加希望の方、奮ってお申し込みをお願い致します。

連絡先：岩手ホスピスの会 090-2604-7918



陸前高田市上壺仮設住宅

がん患者さんのための栄養講座

パート 24

岩手県立胆沢病院 がん病態栄養専門管理栄養士 蛇口 真理子

寒かった冬もようやく終わり、春めいてきましたね。

今回は、食道がんの術後の食事について、紹介します。

標準的な食道がんの手術では頸部(けいぶ)のリンパ節が切除され、頸部と食道と再建臓器(多くの場合は胃)がつながれます。食道癌術後の変化としては、頸部と胃で変化が生じます。

頸部では、食べ物を飲み込む(嚥下)の機能も低下し、「誤嚥」といい食べ物が気道に入ることが起こりやすくなります。また、胃も部分切除し、細長い格好にして、頸部まで持ち上げて胃をあごまで持ち上げて口側食道と繋ぎます。胸の中には肺や心臓があるため、持ち上げた胃はおなかにあるときと異なり、胃が膨らみにくいので、一度にたくさんは食べられなくなります。

★食道がんの術後は食事のポイント★

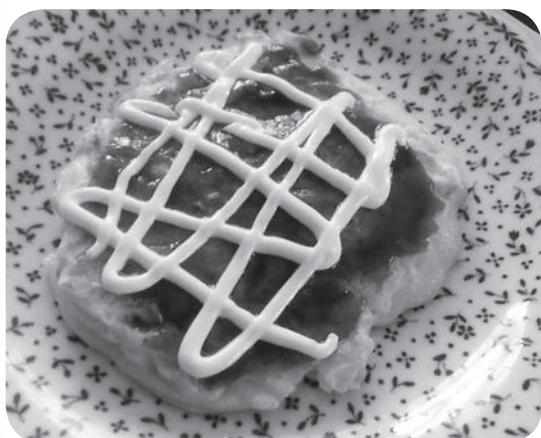
- ①嚥下機能に応じ飲みやすい食事形態の工夫
- ②少量ずつ分割して、栄養価の高い物を選んで食べる



食道がんの術式には、胃の持ち上げ方で「後縦隔経路」、「胸壁前経路」等あり、術後に起こりやすい症状も異なるので、主治医や管理栄養士に相談してみましょう。

食道がん術後でも食べやすい 豆腐のお好み焼き (1人前 145 kcal)

材料 (1人前)	分量
絹ごし豆腐	70g
キャベツ	50g
しらす干し	10g
卵	1個
お好み焼き粉	大さじ2
サラダ油	小さじ1
お好みソース	小さじ1
マヨネーズ	適量



作り方

- ① 豆腐はキッチンペーパーで水気を切っておく。
- ② キャベツ、しらす干しは粗く刻んでおく。
- ③ ボールに卵を溶きほぐし、①の豆腐を手でつぶしながら入れる。②とお好み焼き粉を加え、混ぜ合わせる。
- ④ フライパンにサラダ油を熱し、③の生地を丸く流し込んで、蓋をして弱火で蒸し焼く。色が付いたらひっくり返し、片面も同様に焼く。
- ⑤ お好み焼きソース、マヨネーズをかけて、出来上がり。

焼く際にフライパンに蓋をすることで、蒸し焼きになります。柔らかく仕上がり、飲み込みしやすくなります。飲み込みが可能であれば、具に豚肉のひき肉や薄切りを追加しても良いです。

豆腐を使っているので、ソースではなく、ポン酢で食べてもさっぱりとして、よく合います。

消化の負担が少なく、蛋白質も摂取できるので、胃切後の方にもおすすめです。

参考文献：食道がん術前・術後の100日レシピ 回復までの食事プラン 女子栄養大学出版
がん研有明病院の胃がん治療に向き合う食事 女子栄養大学出版

岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2018年1月~4月)

当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから当会に寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで85,595個に上っています。帽子を作るボランティアの皆さんに深く感謝申し上げます。



*先日はすてきな帽子誠にありがとうございました。一針ごとみなさんの暖かい気持ちが込められていると涙が出ます。2回目の手術が終わり、次の抗がん剤治療へと、この帽子に力を与えてもらった感じで、頑張ろう、笑顔で過ごせる日々が来る、きっと来ると信じています。どうぞ皆様時節柄お体をご自愛くださいますように。

(茨城県)



盛岡二高生が病院にタオル帽子を贈呈 (2017.12.5)

*この度タオル帽子を送っていただきました。実は私は岩手県出身です。結婚して広島に住んでからはもう20年ほどになります。岩手の実家に帰ったのは2年前になりますが、昨年病気がみつかって治療中の為、次に帰れるのはいつかしらと、ふるさとを思い出しています。今年の冬は広島もさぶいです。タオル帽子はあたたかくてよいですよ。ありがとうございます。(広島県)

フェイスタオルご寄付のお願い



皆様にお願い申し上げます。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルが不足しております。できましたらご寄付のご協力をお願いいたします。どのようなものでも構いません。ご家庭で眠っているタオルがありましたらぜひお送りください。

〈送付先〉 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛

タオル帽子を作りたい方へ

※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。申し込み方法: はがきかメールで。

※メールアドレス: hospice@eins.rnac.ne.jp

はがき: 〒031-0823 青森県八戸市湊高台6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」

これからタオル帽子講習会・サロン日程

6月9日: タオル帽子講習会・サロン

7月14日: タオル帽子講習会・サロン

●場所: 盛岡市総合福祉センター

●開催時間: 午後1時30分から ●問い合わせ先: 080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願います。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

ホスピスで家族を看取ったご家族の思い

「先に行ってきれいな花のある所を見つけておくから」

～盛岡友愛病院緩和ケア病棟で夫を看取って～

しまな さかこ
嶋名 阪子さん

これは主人の私への最後の言葉でした。友愛病院の緩和ケア病棟での26日間が思い出されます。入院した日は、これが最後の入院かもしれないと思うと、涙がとめどなく流れました。最後を自宅で迎えたいと言っていた主人の希望をかなえてやれなかった分、私は明日から毎日来て傍にいようと決めていました。

緩和ケア病棟での日々は、看護師さんたちはどんな時もやさしい言葉かけと笑顔で接してくれ、私まで幸せを感じる時間でした。

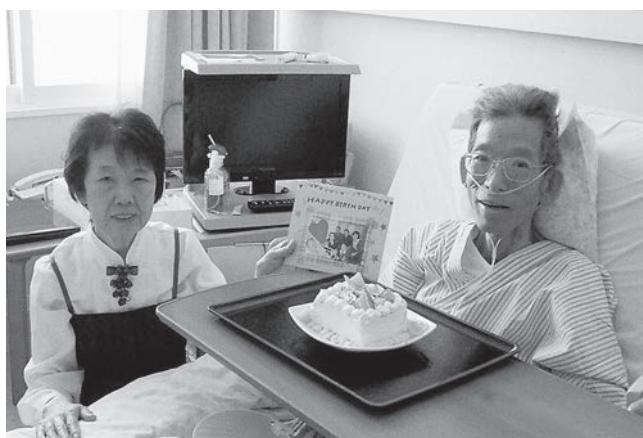
6年10か月の闘病生活だったのに、たった26日間の緩和ケア病棟での入院生活が、今までの苦労を忘れさせてくれるほど、温かく愛にあふれたスタッフの皆さんのが介護でした。

主人は「友愛病院に来て良かったなあー」としみじみ語っていました。

亡くなる4日前は主人の73才の誕生日でした。その日の昼食に、食べたいと言っていたマグロの刺身がつき、持ってきた看護師さんもニコニコしながら「嶋名さん、今日は特別メニューですよ」と。主人も4切れをペロリと食べ嬉しそうな表情でした。そして2時頃にはドアがノックされ、栄養士さんと調理師さんが手作りした果物いっぱいのケーキを持ち、そのあとに看護師さんたち、そして先生も来て「嶋名さんお誕生日おめでとう!」と言ってみんなで拍手。みんなのやさしそうな笑顔、笑顔、笑顔に私は涙が出そうでした。

主人も子供のような笑顔で「ありがとう!」と。その笑顔をパチリパチリと写真も撮ってくれました。

主人はきっと自分の命は誕生日までと決めていたのでしょう。次の日の夜、鼻についている酸素の管をはずし「もういい、終わり、終わり」と言い、私に最後の言葉を残し、二日ほど眠り続けて、静かに旅立っていきました。



73才の誕生日



山が好きだった政美さん

嶋名阪子さんご主人・政美さんは2017年10月、盛岡友愛病院緩和ケア病棟で逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岩手県内各ホスピス現況

(岩手ホスピスの会調べ)

	孝仁病院 緩和ケア病棟	盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟	盛岡友愛病院 緩和ケア病棟
住 所	盛岡市中太田泉田 28	盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1	盛岡市永井 12-10
電 話	019-656-2888 医療福祉相談室	019-637-3111 (代表) 緩和ケア相談室 内線 338	019-638-2222 (代表) 医療相談室 緩和ケア担当 内線 185
病 床 数	10 床	22 床 (全室個室)	18 床
ベ ッ ド	無料個室 8 床 有料個室 2 床	無料 12 室 有料 10 室	個室 10 床のうち 9 床が有料 4 床室無料
ベ ッ ド 料	1 日 3,240 円	1 日 5,400 円・10,800 円	1 日 5,400 円
看 護 師 数	17 名	21 名 + 看護補助者 2 名	16 名 + 補助 4 名
ホスピス 医	米山幸宏先生	旭博史先生、畠山元先生	藤井祐次先生
看 護 師 長	白澤美代子さん	高橋節子さん	曲木順子さん
入院審査を受けるには	医療福祉相談室にご相談ください。 月～水・金・土曜 9:00～17:00 木曜 9:00～12:30	緩和ケア相談室へお問い合わせください。 月～金曜 9:00～16:00	医療相談室まで。 019-638-2222 (代表) 月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30
審 査 日	随時	随時	週 2 回を予定
ホスピス入院平均待機者数	0～3 名	0	4～5 名
ホスピス入院平均待機期間	状況により数日～2週間 重症者優先	外来受診後、平均 5 日	個室は 2～3 週間程度 大部屋 希望の場合は 2～数週間程度(大 部屋は希望が多いため、患者さ んの意向を確認後、一般病棟で 待機する場合があります)
利 用 者 内 訳	盛岡市周辺がほとんど (8割以上)	盛岡市周辺の方がほとんど	盛岡市周辺の方がほとんど
緩和ケア外来	診察日：月～水・金 8:30～16:30 木・土 8:30～11:30 担当医：米山幸宏先生	診察日：月・火・水、要予約 担当医：旭博史先生・ 畠山元先生	開設未定
ホスピスボランティアの人数と活動	登録者 7 名 ホスピスボランティア募集中 019-656-2888	病院ボランティア登録者 25 名。 うち 23 名がホスピスで活動中。	年 1 回程度イベント時活動
遺族会の名称と連絡先	名称：ひだまりの会 年 2 回開催 連絡先：緩和ケア病棟 白澤	ハナミズキの会 緩和ケア病棟 年 1 回開催	設置未定
入 院 料	定額制 (3段階…診療報酬上の緩和ケア 病棟入院料に準じます) 保険適用	定額制です。 入院日期間によって 3 段階での 算定です。	定額制。入院期間により 3 段階。 患者さんの自己負担額は加入し ている保険等により異なる。 各種医療保険適用、医療費の他 に食事代別途徴収。
ペットの同伴	面会可能。宿泊不可。要相談。	面会は可能。宿泊や飼育は不可	面会のみ可能。条件あり。 要申請。
麻酔医と連携	なし	硬膜外ブロックなどを行う場合な どに連携あり。	なし

(2018年3月現在)

詳細は各病院に直接お問合せ下さい)

岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟	岩手県立中部病院 緩和ケア病棟	美山病院 緩和ケア病棟
一関市狐禅寺字大平 17 番地	北上市村崎野 17 地割 10 番地	奥州市水沢区羽田町字水無沢 495-2
0191-23-3452	0197-71-1511	0197-24-2141
24床 (個室20、2床室2)	24床 (個室18、2床室3)	20床 (全室個室)
無料17床 有料7床	有料個室10床、無料室14床	無料20室
1日 3,130 ~ 6,370円	1日 3,240 ~ 13,180円	無料
17名	17名 + 補助3名	17名 + ケースワーカー1名 + 看護補助者5名
平野拓司先生	星野彰先生、桐生幸生先生、平賀一陽先生	及川司先生
和泉美奈子さん	菊池恵美子さん	小林洋子さん
0191-23-3452 (入院相談等) がん相談支援センター 相談時間: 平日 9:00 ~ 16:00	0197-71-1511 (入院相談他) がん相談支援室 相談時間: 平日 9:00 ~ 16:00	入院相談 (担当: ケースワーカー) 後面談 入退院検討会 (医師、薬剤師、栄養士、看護師、理学療法士で構成)
随時	随時	随時 (その後ベッドが空くまで待機)
0	3 ~ 4名	0
1 ~ 2日	待機期間は同院一般病棟や近隣の病院、連携のとれている訪問診療で対応	0
一関市周辺や宮城県北の方がほとんど	花巻北上周辺の方が8割以上。その他は奥州、盛岡等	奥州市周辺の方がほとんど
診察日: 月~金、要予約 担当医: 平野拓司先生	診察日: 月~金の午前、要予約 担当医: 星野彰先生	診察日: 水、要予約 担当医: 及川司先生
ボランティアコーディネーター2名、 ボランティア12名 活動: ティータイム、季節の行事、 がん患者サロン (こころば)	登録者50名。 活動内容: お茶会・歌つこの会・アロマ・ 生け花・季節のイベント企画	現在登録者5名で活動中。 ホスピスピボランティアを随時募集中
偲ぶ会 (連絡先: 緩和ケア病棟) 当院緩和ケア病棟でお亡くなりになつた方のご遺族の方のみ 年1回開催	偲ぶ会 緩和ケア病棟 (0197-71-1511) 当院緩和ケア病棟でお亡くなりになつた方のご遺族の方のみ 年1回開催	七夕の会 緩和ケア病棟 (0197-24-2141) 当院緩和ケア病棟でお亡くなりになつた方のご遺族の方のみ これまでに4回開催
定額制 (入院期間により3段階) ただし、定額に含まれない加算や有料個室の料金等は別途追加になります。	定額制 (入院期間により3段階) ただし、定額に含まれない加算や有料個室の料金等は別途追加になります。	定額制 (マルメ)。3段階になります。
一時的な面会のみ可能	面会可能。宿泊不可	面会可能。宿泊不可
なし	院内ペインクリニックと連携	麻酔医が非常勤なので頻度は少ない。

***** 岩手ホスピスの会活動日誌 *****

2018年1月～4月

1月 13日 第1回役員会

(盛岡市総合福祉センター、5名)

通信発送作業、タオル帽子サロン・講習会

(盛岡市総合福祉センター、18名)

1月 31日 第23回岩手県がん対策推進協議会参加

… (盛岡市勤労福祉会館、2名)

2月 3日 総会資料印刷作業 (盛岡市総合福祉センター、2名)

2月 10日 岩手ホスピスの会平成29年度総会～会員懇談会、

第2回役員会、タオル帽子サロン・講習会 (盛岡市総合福祉センター、30名)

3月 4日 タオル帽子倉庫作業 (盛岡市タオル帽子倉庫、4名)

3月 8日 新設された「もりおか往診ホームケアクリニック」見学 (盛岡市内、4名)

3月 10日 第3回役員会～タオル帽子サロン・講習会 (盛岡市総合福祉センター、29名)
東日本大震災復興祈念イベント「高田に輝の花を咲かせよう」参加

… (陸前高田市アバッセ高田内、3名)

3月 21日 タオル帽子倉庫作業 (盛岡市タオル帽子倉庫、5名)

新年度セミナー開催打ち合わせ (盛岡市内、4名)

3月 24日 タオル帽子倉庫作業 (盛岡市タオル帽子倉庫、5名)

4月 7日 タオル帽子チャリティーバザー (滝沢市土日ジャンボ市、7名)

4月 14日 第4回役員会～タオル帽子サロン・講習会 (盛岡市総合福祉センター、28名)

4月28～29日 タオル帽子チャリティーバザー (滝沢市土日ジャンボ市、12名)



平成29年度 総会・会員懇談会にて

1月 13日 第1回役員会	(盛岡市総合福祉センター、5名)
通信発送作業、タオル帽子サロン・講習会	(盛岡市総合福祉センター、18名)
1月 31日 第23回岩手県がん対策推進協議会参加	… (盛岡市勤労福祉会館、2名)
2月 3日 総会資料印刷作業	(盛岡市総合福祉センター、2名)
2月 10日 岩手ホスピスの会平成29年度総会～会員懇談会、	第2回役員会、タオル帽子サロン・講習会 (盛岡市総合福祉センター、30名)
3月 4日 タオル帽子倉庫作業	(盛岡市タオル帽子倉庫、4名)
3月 8日 新設された「もりおか往診ホームケアクリニック」見学	(盛岡市内、4名)
3月 10日 第3回役員会～タオル帽子サロン・講習会	(盛岡市総合福祉センター、29名) 東日本大震災復興祈念イベント「高田に輝の花を咲かせよう」参加
	… (陸前高田市アバッセ高田内、3名)
3月 21日 タオル帽子倉庫作業	(盛岡市タオル帽子倉庫、5名)
新年度セミナー開催打ち合わせ	(盛岡市内、4名)
3月 24日 タオル帽子倉庫作業	(盛岡市タオル帽子倉庫、5名)
4月 7日 タオル帽子チャリティーバザー	(滝沢市土日ジャンボ市、7名)
4月 14日 第4回役員会～タオル帽子サロン・講習会	(盛岡市総合福祉センター、28名)
4月28～29日 タオル帽子チャリティーバザー	(滝沢市土日ジャンボ市、12名)

「岩手ホスピスの会」がん相談ホットライン



開設日	毎月第2土曜日 午後1時30分～4時(月により変更あり) 相談無料
場所	盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子サロン会場(月により変更あり)
内容	電話相談：がん全般についての相談に対応致します。 直接面談：上記会場に来訪して頂き対応 ※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。
問合せ	岩手ホスピスの会 090-2604-7918

新年度会費の納入をお願いいたします。

岩手ホスピスの会は皆さんの会費により運営されております。2018年度会費(2018年1月～2018年12月分)を郵便局にて、振込用紙に住所、氏名を明記の上振込をお願いいたします。

なお、行き違いですでにお支払いいただいております折は、なにとぞご容赦ください。

また、ご住所の変更があった方はお手数ですがご連絡をお願いします。

会費：1,000円(複数口可) 郵便振替：02250-1-60580 岩手ホスピスの会